

笹波で防災訓練を実施



笹波集会所に避難する住民の方々

5月28日（水）に大規模地震によるため池被害を想定した防災訓練が行われました。

ため池は能登半島地震で被害が多かったため、訓練では決壊する恐れがあると想定して笹波集会所に災害対策本部を設置しました。ため池では町職員や消防団員がポンプで排水し土のうを積む作業にあたり、住民約150人が班ごとに分かれて集会所に避難しました。

訓練後の意見交換では、ハンドマイクを使った広報活動などが「分かりやすかった」と評価されました。

比較的高齢者が多い同地区では、避難時の安全確保に課題を残しましたが、今後、県がとりまとめる対策に反映されます。

6月4日、津幡町文化会館シグナスで平成20年度石川県人権擁護委員連合会総会が開催されました。

席上、地域の中で長年人権擁護活動に尽力された盛本浩吉委員にその功績を讃え、全国人権擁護委員連合会長表彰状が贈呈されました。また、大野堯委員、三沖博委員、三津幸子委員に名古屋法務局長より感謝状が贈られました。

人権擁護委員は、国民の基本的な人権が侵されないように監視や適切な処置をとるなどして人権尊重思想の普及高揚に努め、地域に密着した活動を行っています。

盛本さんが人権擁護委員表彰



盛本浩吉委員

100歳おめでとうございます



坂本さとさんと記念撮影

6月18日（水）、向病院で、100歳になられた坂本さとさん（西海風無）に祝い状と花束などが贈られました。細川町長が「いつまでもお元気で長生きしてください」とお祝いの言葉を贈りました。

看護師が手作りした「祝100歳おめでとう」と書かれたボードをプレゼントされ、家族とともに喜びました。

志賀町では現在、100歳以上の方々は坂本さんで18人目となりました。おめでとうございます。

まぢがドルポ

富来ますほ学童野球クラブ選手 19 人が6月14日(土)と15日(日)に行われた高松宮杯第28回全日本学童軟式野球大会の石川県予選で見事2年ぶり2度目の優勝を果たし6月19日(木)に青山教育長のもとを訪れ、優勝を報告しました。

大矢栄一監督が大会結果と選手一人ひとりを紹介し、主将の村中健哉さん(6年)が「全国大会で優勝して、志賀町に優勝旗を持って帰ってこられるよう頑張ってきます」と誓いました。

チーム代表の村中哲男さんは「ケガなく体調も万全で挑むことが出来れば、優勝できるほど力を持ったチームです」と話しました。

同クラブは、8月9日(土)から茨城県で行われる「小学生の甲子園」と呼ばれる全国大会に出場します。

目指すは全国制覇!!



優勝したますほ学童野球クラブ

東増穂分団が総合4連覇



総合優勝した東増穂分団

第37回羽咋都市消防団連合会訓練大会が6月21日(土)に羽咋市で行われました。大会では、羽咋都市の27分団645人が参加し、ポンプ車操法と小隊訓練などの技術を競い合いました。

この日のために各分団では、早朝や夜間に練習に励み、この大会に懸ける並々ならぬ熱意が伝わってきます。

総合の部は東増穂分団が4連覇を達成し、土田分団が2位と好成績を収めました。

また、ポンプ車操法の部では、東増穂分団が1位、稗造分団が2位に入り、7月26日(土)に行われる県消防操法大会に出場します。

癒しの風船ボランティア

6月17日(火)に志賀クリニックデイケアセンターで、風船を使った動物作りが行なわれました。今回の指導員は、北陸電力(株)地域社会部の社員で、地域ボランティア活動の一環として実施されました。昨年の10月から「はまなす園」や「ますほの里」などを回り、お年寄りたちの心を癒しています。リハビリ運動を兼ねて作った動物は、世界でただ一匹のもので、参加者は大切に部屋に飾っているそうです。また、今年度は、放課後児童クラブなども訪問する予定で、子どもたちの笑顔が目に見えます。